

地域の創造性を活かした米の構造改革の推進

稲作を中心とする地域の水田農業について、地域の個性を活かしながら競争力を強化する取組を円滑に推進するための対策を講じるとともに、透明かつ効率的な流通を行う産地に機動的な支援を行うシステムを構築し、米を安定的に供給していくための取組を促進。

32,654(0)百万円

1. ポイント

地方が、全国一律的でなく、知恵と創造性を発揮し互いに競争していく中で、経済社会の活力を引き出すことが喫緊の課題となっていることから、

- (1) 生産段階においては、地域の稲作を中心とする水田農業について地域の個性を活かしながら行う競争力を強化する取組を促進するとともに、
- (2) 流通段階においては、効率的な流通を行う産地に機動的な支援を行うシステムを構築し、需要に応じた独自の販売戦略に基づく安定的な供給体制の確立を通じて、水田農業の安定性を高め、地域の活性化を促進することをねらいとする。

2. 事業内容

(1) 地域水田農業再編緊急対策 20,001(0)百万円

水田農業を営む複数の者が、集落程度の広がりを持った地域で共同して水田農業の構造改革に関する計画を作成し、担い手への生産の集約、有機農業の導入、生産調整の超過達成等の取組を行う場合に、その取組に応じて助成する。

(2) 米流通システム改革促進対策 12,653(0)百万円

需要と供給のミスマッチを回避する地域の主体的取組を支援するため、国と出荷団体の拠出により資金を造成し、生産段階における需給調整と併せ、流通段階において、無用な流通コストの発生を防止した計画的・安定的販売を促進するとともに、豊作等による予期せぬ過剰分について、調整保管により需要動向への迅速な対応等を図る取組を支援する。

3. 事業実施主体

- (1) 農協等
- (2) 全国農業協同組合連合会、全国主食集荷協同組合連合会

4. 補助率

定額

[担当窓口課：食糧庁総務部企画課]

○地域水田農業再編緊急対策

○地域水田農業再編計画

- ・地域毎に複数の水田農業者（稲経参加者）が共同で策定
- ・農業者が取り組みやすい内容、様式の計画
- ・計画期間：平成14～16年度の3ヵ年
- ・計画内容：取組目標、取組目標毎の取組年度、所要経費、取組者
- ・生産調整の地区達成等が計画認定の要件

○ガイドライン

- ・国が示すガイドラインの下で、地域の判断で計画を策定
- ・内容：具体的な取組目標例
 - ・担い手への農地の集積
 - ・担い手に稲作作業を委託
 - ・有機米の生産
 - ・稲わらを収穫し畜産農家に供給
 - ・生産調整の超過達成

○補助金

- ・取組に要する必要額を積上げ、定額補助金を取組者に交付（地区毎に稲経交付数量を基準に算出する上限額あり）。

○米流通システム改革促進対策

